



社会福祉大会表彰

港南区社会福祉大会は多年に渡り、地域福祉活動の増進に功績のあった方々に感謝の意を表し、地域福祉の一層の充実を図っていくことを目的として開催しています。今年度は、令和6年11月21日(木)、横浜市港南公会堂で行われました。表彰を受けた方々は次の通りです(順不同・敬称略)。

【ボランティア活動功労】

- 表彰** 山尾宏子 宮澤みゆき
桑原比朗美 工藤美栄子
相川昌三 松永いよ子
- 感謝** 芝山眞之 車田芳子 原田倫子
川島昌充 若松雄二 臼井忠良
千葉宣明 藤原菊雄 石井昌子
篠崎寛 セッカーズ
日野分譲町内会畑の会
コスモス会 グループリリー

【地域活動功労】

- 表彰** 竹内文江
- 感謝** 高見治男 福寿邦夫
福祉ネットワークS・O・S

【金品活動功労】

杉山孝博 斎藤勝芳 田辺怡志
村澤久子
港南区クリスマスチャリティコンサート実行委員会

令和6年度赤い羽根共同募金

街頭募金活動の様子

お預かりした募金は港南区の「地域福祉活動」の財源として活用されます。



街頭募金活動は民生委員児童委員協議会・助成金受配団体・障害当事者団体に協力いただきました。(順不同・敬称略)

募金

令和5年度赤い羽根共同募金・年末たすけあいの募金

共同募金	16,087,723円
(内訳)赤い羽根	10,816,945円
年末たすけあい	5,270,778円

募金の使いみち

- ① 身近な地域の見守り・助け合い事業へ 3,000,000円
- ② 高齢者・障害のある方・子どもたちへ 7,702,778円
- ③ 区社会福祉協議会事業へ 1,382,962円
- ④ 県内の福祉施設・団体へ 4,001,983円

募金の使いみちについては、赤い羽根データベース「はねっと」に掲載しております。

はねっと 検索

令和6年度日本赤十字社会費募集運動

校内外の救援活動や地域の救急法講習会の開催、地域福祉活動支援、罹災世帯への災害見舞金にあてられます。

会費 8,999,510円
(令和6年9月末現在)

善意銀行

港南区の高齢者・障害者をはじめとするさまざまな方を支援するため、有効に活用しています(順不同・敬称略)。

2,076,003円

(クラウドファンディング含む)

令和5年10月1日～令和6年9月末

久保寺のり子 中央労働金庫杉田支店
推進幹事会 斎藤勝芳 下永谷地区社会福祉協議会 港南区民謡民舞連合会
司法書士ともえ事務所 山東彰子
福寿啓子 板倉祥子 樋口宗典
大貫義幸 垣内志野 杉山孝博
田辺怡志 市女協三人会 株式会社中
信 高橋周孝 アルクKiddyCAT 英

港南区社会福祉協議会では、事業計画・報告並びに収支予算・決算についてホームページに掲載しております。また冊子をご希望の方は事務局までご連絡ください。

港南区社協 検索

「社協だより こうなん」音声訳版(CD)もボランティアグループ「港南音訳ボランティアいとでんわ」の協力により作成しています。ご希望の方は港南区社会福祉協議会までご連絡ください。

こうなん

TEL: 045-841-0256

FAX: 048-846-4117

URL: <http://www.kounan-shakyo.jp/>

E-mail: toiawase@kounan-shakyo.jp

〒233-0003 港南区港南4丁目2番8号3階 港南区福祉保健活動拠点内

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。

区社協だより

こうなん

NO.79

DEC.2024



誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作りだす

CONTENTS 永野地区(上永谷・丸山台・上野庭・下野庭)に広がる地域共生のつながり
～障害のあるなしにこだわらず、つながりあうまちへ～

「まちの給水所」が呼び込んだつながり
地域共生の啓発のバトン



Instagram

港南区社協や区内の活動紹介など配信中です

港南区社協キャラクター
はむたん



『まちの給水所』が 呼び込んだつながり

「まちの給水所」(*)とは毎年夏に誰もが安心して出かけられるように飲料水と一時休息所の無料休息スポットを提供する永谷地区のアイデアから生まれた港南区社協の事業です。多くの福祉施設や事業所の協力があり、**上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウス**もフリースペースにて提供くださっています。

永野地区にある障害者施設「おもろ」(生活介護事業所)の皆さんが日中活動のウォーキングで立ち寄ったのをきっかけに、両施設のつながりが生まれました。

おもろのメンバーは受注製品の組立作業などでの座りっぱなしを避けるため、ウォーキングが欠かせません。川の清掃作業で関わりのあった土木事務所。その跡地にできた施設はどんなところかと立ち寄ってみましたら、笑顔とお水で出迎えられ、メンバーの日中活動の幅を広げることにもつながりました。

[生活介護事業所おもろ所長 横山さん]



ウォーキング中

「まちの給水所」(*)の取り組みはこちら



上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウスの「まちの給水所」



おもろの地域清掃

多目的室などの利用や窓口相談以外にどなたでもふと立ち寄れるよう、乳幼児専用のプレイスペースの隣に飲食OKの机椅子を備えています。お水の提供をきっかけにその方に合わせたご案内などもしやすく、お聞きした想いやご意見を施設運営の参考にしています。

[上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウス施設長 仲嶋さん]



地区社協運営委員会



＼かみながや／＼のば／

永野地区に広がる 地域共生のつながり

(上永谷・丸山台・上野庭・下野庭エリア)

～障害のあるなしにこだわらず、つながりあうまちへ～

上永谷駅周辺に広がる永野地区では、地区社会福祉協議会(以下、地区社協)と連合町内会が、日々のラジオ体操、夏祭りや公園清掃、防災訓練、作品展、ボッチャなど、一人ひとりが日々の気づきからゆるやかなつながりや支え合いを大切にした福祉のまちづくりを進めています。

また令和6年7月に開所した**上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウス**が、

充実したスタッフと会場設備をもとに地域のつながりを生み出す拠点として力を発揮しています。

この永野地区で港南区社会福祉協議会(以下、区社協)が区役所や地域ケアプラザと協働で取り組む「まちの給水所」(*)からつながった障害福祉施設や地区社協・連合町内会による地域共生のための活動を紹介します。

まちの一員として役立ちたいと地域清掃に取り組んでいます。永野連合町内会の運動会や防災訓練、地区社協からボッチャ交流や助け合い活動に誘われて、嬉しい交流の機会が増えています。

[おもろ所長 横山さん]



地域共生の啓発のバトン

永野地区社協は永野連合町内会とともに地域における障害者の理解啓発に力を入れています。

令和6年2月には、数年前の障害者グループホーム「ドエルはなぶさ」建設への住民運動を振り返りながら障害者理解を考える「**全体会議**」を開催。8月には映画「不安の正体～精神障害者グループホームと地域～」を**上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウス**で上映しました。また3月には永野地区社協によるおもしろのメンバーとボッチャをともに楽しむ会で盛り上がりしました。

ドエルはなぶさのキッチンに飾られる季節の花は、障害者のグループホームができることに不安を抱いていた方が庭に咲いたからとお持ちになります。オープンな行き来や交流を重ねるほどに相互の信頼が重なり、正しい理解と地域共生に結び付くと実感しています。

[永野連合町内会会長 高橋さん]

不思議な行動もそれだけの話。こういう人が居るのも普通。目くじらを立てない。「どうってこともない、お互いやれることを一緒にやっていこうよ」という気持ちを大事にしていきたいです。

[永野地区社協会長 片伯部さん]



全体会議



上永谷駅前地域ケアプラザ・コミュニティハウスで上映した映画「不安の正体」

永野地区社協の取組はこちら

